

< 予稿集 >

経済統計・政府統計の数理的基礎と応用 2012<sup>1</sup>

会場：青森公立大学

2012年9月

<sup>1</sup>この予稿集は文部科学省・科学研究費プロジェクト「経済統計・政府統計の数理的基礎とその応用」(2011年度～2014年度)が開催する研究集会における講演内容をまとめたものである。

# 前書き

本報告書は、日本学術振興会・科学研究プロジェクト「経済統計・政府統計の数理的基礎とその応用」（2011年度－2014年度、研究代表者：山本 拓）が、2012年9月28日（金）、29日（土）に青森公立大国際交流ハウスで開催した2012年度の研究集会における講演内容をまとめたものである。2012年度の研究集会は国友直人・山本拓がオーガナイザーであるが、会場については佐藤整尚氏にご尽力いただいた。

本プロジェクトの目的は、経済統計・政府統計における主要な課題の、技術的および制度的問題を、統計学的な立場から理論的・学術的に検討し、具体的解決策を提言することである。

経済統計、とりわけ政府統計は、経済・社会の動向を理解し、政策を実施、評価するためには不可欠な情報であることは言うまでもない。最近は evidence-based policy ということもよく言われ、政府統計の重要性は一般に広く認識されつつあると思われる。しかし、経済統計・政府統計への信頼性は、近年必ずしも増しているとは言えない状況である。経済社会の急激な変化に伴い、政府統計の質の確保が困難になりつつある。マクロ経済統計の側面では、GDP 統計などに代表されるマクロ公表系列の質と信頼性の問題、信頼性の高い将来人口の推計の問題、地域による経済情勢のばらつきの把握などの問題を挙げることができる。またミクロ経済データにおいては、統計調査をとりまくプライバシー意識の高まりから、調査精度の確保が難しくなりつつあるという問題や、情報開示と秘密保持の両立という匿名化問題などを挙げることができる。

新しい統計学的知見の導入に関しては、日本の政府統計部局が分散化されているために、これまでは、個別の担当部局あるいはその時々担当者に個別に招かれた研究者によって知見や助言が提供されることが多かった。政府統計を巡る重要な論点について、担当部局をまたいでその知見が共有されることは少なかったと思われる。またそれらの話題が広く研究者間で議論されることも少なかった。そのような意味で、経済統計・政府統計の技術的・制度的問題点を、統計学的立場から総括的に検討していくという本研究プロジェクトは、一つの新しい方向性を示している。

本プロジェクトの研究集会は、プロジェクトのメンバーと実際に経済統計・政府統計に作成者または利用者として業務として携わっている方々との積極的な交流を目指している。したがって研究集会における研究報告は、メンバーと外部の方の報告が概ね半々になるように構成されている。昨年度の第1回目の研究集会の特徴は、外部の報告者として、実際に主要な政府統計を作成されている担当者を招き、作成上のポイントや課題を報告して頂いたことである。

今年度は第2回目の研究集会として、外部の報告者としては地方政府において統計に関わっている方に、そのあり方や課題などについて報告して頂いたことにその特徴がある。さらにマクロ経済統計の作成者および利用者としての立場からその問題点や改善の方向性やについての報告を頂いた。メンバーからは、季節調整法について、ミクロ統計や人口統計についての理論と実際について等の報告が行われた。このような機会が情報交換ならびにお互いの刺激となり、経済統計・政府統計の今後の改善の一助となることを期待する次第である。

2013年2月

**编者**

研究集会「経済統計・政府統計の数理的基礎と応用 2012」

日時：2012年9月28日(金)-29日(土)

場所：青森公立大学国際交流ハウス

オーガナイザー：山本拓・国友直人

開催趣旨と参加要領：

この研究集会は科学研究費プロジェクト(2011年度-2014年度)「経済統計・政府統計の数理的基礎と応用」(代表：山本拓)に基づき開催するもので、日本統計学会「計量経済・計量ファイナンス分科会」との共催事業です。

<プログラム>

2012年9月28日(金)

<挨拶：研究プロジェクトの計画>

13:00-13:05 山本拓 「研究プロジェクト 2011-2014 の概要」

<東北地域と経済統計>

13:05-13:45 井上健 「東北地方における水産統計の利用について」

13:40-14:25 小寺隆子 「青森県の景気ウオッチャー調査について」

<コーヒー・ブレイク>

<季節調整の理論と実際>

14:30-15:10 高岡慎 「安定性を考慮したモデル選択法—法人企業統計の事例—」

15:10-16:50 佐藤整尚・国友直人 「構造変化と季節調整」

<マクロ経済統計の理論と実際>

15:50-16:30 野木森稔 「生産アプローチに基づく四半期 GDP」

16:30-17:10 小巻泰之 「政府統計のリビジョンスタディ」

<懇親会>青森市内

2012年9月29日(土)

<ミクロ統計・人口統計の理論と実際>

10:10-10:50 久保川達也 「小地域推定とベンチマーク問題」

10:50-11:30 土屋隆裕 「景気関連調査のための Web 実験調査」

11:30-12:10 千木良弘朗・山本拓 「Lee-Carter 法と人口推計」

<挨拶>

12:10-12:30 「連絡事項と今後の計画」 計画参加者・全員